

先週のマーケット動向(10月28日~11月1日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,390.5	1,391.5	1,374.7	1,379.4	▲9.3
JPY/KRW	9.0876	9.0982	8.9750	9.0465	▲0.095
KOSPI	2,588.45	2,617.80	2,536.84	2,542.36	▲40.91

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落。週初のドル/ウォンは1,390.5ウォンでオープン。米金利の上昇を受けて高値圏で揉み合うも、1,400ウォンの節目も意識され当局による為替介入への警戒が重しとなり、その後はやや軟調推移。週半ばは月末に絡んで輸出企業によるドル売り需要が上値を押さえた。一方、米ハイテク・半導体株安を受けて韓国株式市場からの資金流出が拡大しウォン売り需要が下値を支え、ドル/ウォンはやや軟調ながらも一進一退の推移が続いた。11月1日は朝方米金利の低下を受けて1,370ウォン台半ばまで下落するも、米雇用統計や翌週に控える米大統領選、FOMCへの警戒感からドル買いが強まり一時1,380ウォン台まで戻す値動きとなった。結局、ドル/ウォンは前週末比▲9.3ウォンの1,379.4ウォンでクローズした。(韓国時間15:30)

今週の見通し

今週のドル/ウォンは底堅い値動きを予想。今週は5日に控える米大統領選が一大イベントに。トランプ氏当選の可能性から10月下旬にかけてウォンは弱含んだが、実際に大統領選後いずれの候補が当選しようとも大規模な財政支出を公約に掲げていることからドル高に繋がりやすいとの見方が優勢。トランプ氏が当選した場合は、一段とドル買いが拡大する展開も想定されよう。ドル/ウォン相場はイベント動向を睨みつつ、底堅い推移を想定する。また、7日のFOMCでは25bpの利下げが確実視されるが、大統領選動向が今後の金融政策に影響及ぼす可能性があり、注意したい。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1365 ~ 1400	8.90 ~ 9.20	151.0 ~ 154.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

\* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



\* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 4日(月) 米 9月 耐久財受注 確報値  
欧 10月 製造業PMI 確報値  
米 9月 製造業受注 速報値
- 5日(火) 中 10月 総合PMI 確定値  
中 10月 サービス業PMI 確定値  
韓 10月 CPI 確定値  
米 10月 ISM非製造業景況指数 確定値
- 6日(水) 欧 10月 サービス業PMI 確報値  
米 10月 サービス業PMI 確報値
- 7日(木) 米 11月 失業保険新規申請者数  
中 10月 貿易収支 確定値  
韓 9月 国際収支 速報値  
米 FOMC 政策金利発表
- 8日(金) 米 11月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値